

患者のQOLを考慮した 中耳術後Dressing

上越総合病院耳鼻咽喉科
五十嵐良和



手術書には、中耳手術の記載が詳細にしてあるが、術後Dressingに関する記載は、ほとんどない。

このため、各施設独自のDressingが行われていると推定される...

・・・自分の教わった方法は・・・

小さな術創に対して必要以上に大げさなDressingがおこなわれ、患者の術後QOLを低下させていた。



私の教わった方法



髪や顔面にかかる長いテープとネットがとても邪魔。





QOL改善のためのコンセプト

1. 髪や顔を覆うガーゼやネットをできるだけ減らす。
2. 耳介挙上をきたす、無理な力を耳介に加えない。
3. その一方、基本的な創の圧迫保護、
ガーゼ固定は確実であること。



今回、改良した方法



患者の耳介基部湾曲にあわせ、八つ折りガーゼに切れ目を入れる。

最小限のガーゼ量でOK



切れ込みをいれたガーゼを、耳介をはさむように上方から入れる。

ガーゼ固定が確実。ずれ予防ネットが不要。



必要に応じて八つ折りガーゼを追加し、シルキーポアで固定。

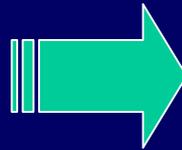
創を十分に圧迫。長いテープやネットは不要。



改良前後の比較



耳介全体を包み込む発想



耳介をはさみ込む
発想への転換

頭部を覆う、じゃまなテープやネットがなくなり、術後QOLが改善した。

